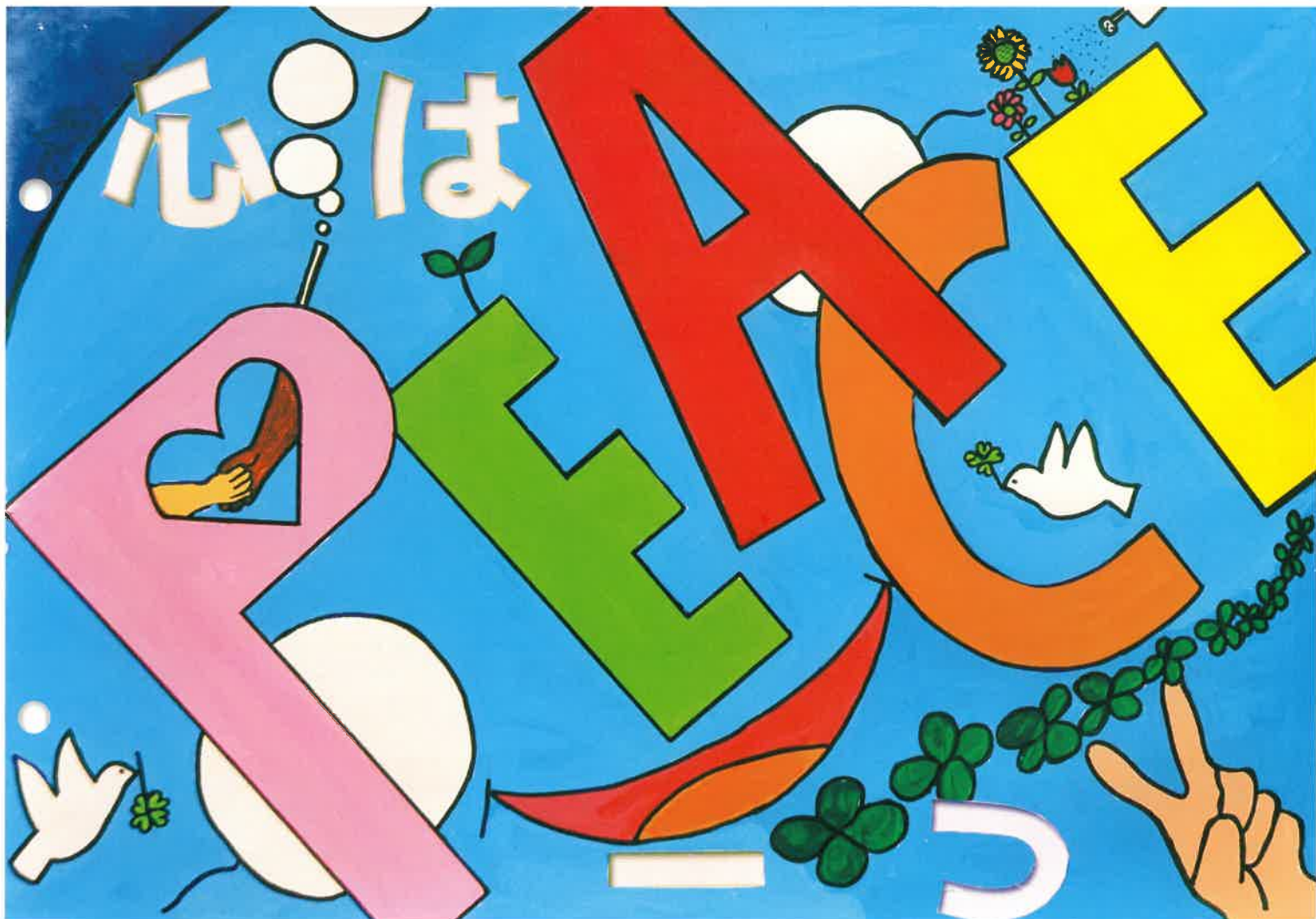


# ヒューマン 上田

ヒューマン上田とは…

Humanとは、「人間の」とか「人間的」と訳されます。  
一人ひとりの人権を大切にする明るい上田市であることを願い、  
名付けられました。



「心は一つ」 神科小学校 六年 やまうち 山内 ゆうま 悠生

## 特集

### コロナ禍において、 あなたが大切にすることは なんですか？

## もくじ Contents

- **特集** コロナ禍において、  
あなたが大切にすることはなんですか？ … 2
- 上田市人権啓発推進委員会活動紹介 … 5
- 最優秀人権啓発作品 … 6

## 特集

# コロナ禍において、 あなたが大切にすることはなんですか？

新型コロナウイルスの感染拡大により、人と人との気持ちが離れてしまいそうな状況が続いています。そんな中で、お互いを思いやる気持ちがどんなに大切か、今回の「ヒューマン上田」で一緒に考えてみましょう。

## 市内でコロナウイルスに関する声をひろってみました



患者さんとの距離が近いので感染リスクはありますが、頑張るしかないと思っています。(歯科医)



患者さんは感染リスクが高いから、ご家族には会わせられないけど、このまま家族と会えないうちに、症状が進んでしまいそうで心配です。(病院看護師)

この頃では、マスクをしていても、咳やくしゃみをする時、周りの視線がとても気になります。仕事以外でも気をつかうことが多くなって、疲れてやりきれない思いです。(会社員)



4月から仕事がなくなりました。アルバイトくらいでは、家族が食べていけません。とにかく働きたいです。(上田在住が16年になるボリビア出身の男性)



感染者の家族が、あのスーパーで買い物していたらしいから、あそこに行くのはこわいわよね。(主婦)



コロナになった人が、〇〇医院に通院していたんだって。私も通院しているのにに行けなくなっちゃう。困る～。(通院患者)

コロナになった人の家に「ここから出ていけ!」という張り紙があったとか、「石を投げこまれた」とかうわさで聞きました。もし自分になったらと思うと怖くなりました。(高校生)



県外ナンバーの車に乗っています。出勤しようとしたら、タイヤがパンクさせられていました。上田に住んで20年以上になります。大好きな上田でこんなことがあるなんて、とてもショックでした。人って怖いなあ、と思うと同時に、やるせない、さみしい気持ちになりました。(会社員)





不安や恐怖を前に、相手の立場を思いやれない時が、差別・偏見につながりやすい時です。

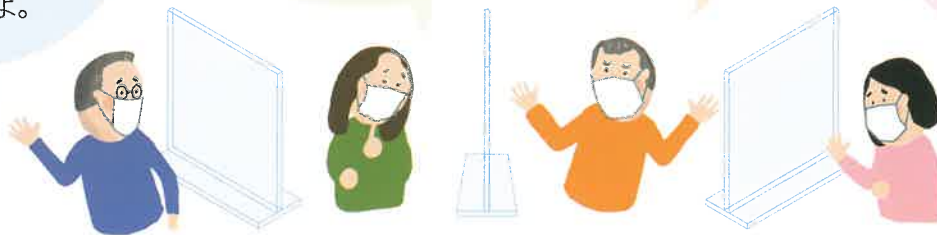
誰だって怖いコロナウイルスを前にしたら、気持ちは揺れ動きます。  
相手に優しい気持ちになれる時があれば、そうでない時もあります。

政府も自治体も  
一生懸命に  
感染拡大を防ごうと  
努力しているんだから、  
それに合わせて行動するのは  
当たり前じゃないかと思っ  
うんだよ。

感染しないように、  
感染させないように  
自分ではできるだけ努力を  
している。  
ほかの人にも同じように  
努力してほしいし、  
それが当たり前だと思う。

感染するのは  
個人の責任で、  
その人の行動に問題が  
あると思う。

感染者を特定して、  
その行動を責めるのは、  
お互いを信用しないで、  
疑いあうような関係をつ  
くるだけだと思う。



でも…

立場が違う人、自分とは違う事情を抱えている人がいることを知り、  
相手に心を寄せて理解しようとする気持ちをもつと、  
ちよっぴり周りを優しく、ゆったりと見つめることができますと思います。

- ・お店の中には、家賃が高くて、補償をもらってもやっていけないところがある。
- ・肉親、親族などと、どうしても会わないといけない事情ができた人だっている。
- ・コロナ禍であっても、たくさんの人が働いているおかげで、今の自分が生活できている。

## コロナ禍でも 差別や偏見のない社会にしたい・・・

あなたも「感染するかもしれない一人」なのです。感染した「その人」を責めても、  
ウイルスを遠ざけることにはなりません。

言いません…………… 自分が言われていやなこと  
しません…………… 自分がされていやなこと

### コロナ禍の今だから特に…

- できるだけ正しい情報を選び取りましょう。（誤った情報も数多く見られます）
- 発信したいときは、一度立ち止まって、誰かを傷つけないか、当事者に面と向かってでも言えることなのかを考えてみましょう。
- 立ち話だって立派な「発信」です。…噂話をストップさせる勇気をもちましょう。（噂話などは、意外な尾ひれがついて、とんでもない内容にまで変化することがあります）

やっぱり「大丈夫ですか」「お大事に」の声が交わされる社会が  
誰にとっても暮らしやすいですね



## 『心に効くワクチン』

～ある家庭の姿から～

買い物から帰った陽子さんの手の洗い方に、夫の誠さんが注文を付けました。

すると陽子さんはムツとして、  
「ああ、やだやだ、腕まで洗えだなんて。わざわざ長袖で外出したのよー、私。  
まったく臆病なのよ、あなたは！」  
と言い返しました。



誠さんも負けずに言い返します。  
「感染防止意識が薄いんだよ、君は！」



新型コロナウイルスの感染が広がるにつれて、  
こんな風に衝突することが多くなった両親の姿に  
心を痛めていた娘の美咲さんが言いました。



「お父さんは家族や仕事に責任を感じているから慎重なんだよね。  
お母さんだって、私やお父さんが困らないように、マスクや消毒液を用意したり、  
色々細かく気を配っているよね。お父さん、お母さん、ありがとう。」

美咲さんの言葉にハッとして顔を見合わせた誠さんと陽子さんの表情には、  
だんだんと微笑みが浮かんできました。



人は経験や置かれた立場、状況などによって感じ方や考え方が異なってきます。  
新型コロナウイルスによって感情的に対立し合い、互いのつながりが絶たれやすくなっている今、  
美咲さんのような「相手の良さ」に目を向け、「感謝の気持ち」を表すことは、  
私たちの心に作用するワクチンであり、治療薬なのかもしれません。

この家庭のように、気持ちがすれ違うようになってしまった家族間や  
ご近所さんとの心の距離を縮めて、コロナ禍の厳しい時期を乗り切っていきましょう。



いのち・愛、そして絆を大切にするまちづくり

## 上田市人権啓発推進委員会 令和2年度の活動紹介

上田市人権啓発推進委員会は、各団体の代表や自主的に入会した約110名の市民で構成されています。当委員会では、お互いの人権を尊重し、あらゆる差別をなくそうと学習や市民への啓発活動を行っています。より多くの皆様に当委員会を知って参加していただきたく、この1年間の主な活動をご紹介します。



上田市人権啓発推進委員会 会長 橋爪 一壽

新型コロナウイルスの国内初感染者が確認されてから一年以上になります。上田市の感染者にも、感染経路がわからないケースが増え、終息が見通せない状況が続いています。「コロナ感染の拡大」が少し落ち着くと、「自粛疲れ」解消のための旅行や会食で「気の緩み」が起こるといふ、まさに「一波おこり、一波おさまる」といった感じです。

感染防止は、自分のこととして危機感をもち、できることをしっかりやることしかないとします。必ずや明るい明日が来ると信じて、ともに頑張っていきましょう。

## 第72回人権週間 ～街頭啓発～

令和2年12月4日～10日

12月4日金曜日。令和2年度人権啓発活動のキャッチコピー「『誰か』のことじゃない」をテーマに街頭啓発を行いました。

この街頭人権啓発活動は、上田市人権啓発推進委員会のほか、人権にかかわる5つの団体が参加して実施されました。

バス待ちをしていた高校生に、「人権について関心がありますか？」と尋ねると、「中学の時にハンセン病回復者の方からお話をお聞きしました。人権問題の深さを感じました。」と答えてくれました。人権への意識を持つ若者の言葉に、励まされた思いがした朝でした。



▲上田駅前での啓発活動

## 人権作品審査

令和2年12月9日～令和3年1月7日

コロナ禍で授業日数が減った学校関係からも、昨年同様にたくさんの応募がありました。コロナに関連した作品の中には、大人の口ぐせになっている「早くコロナが終わればいいのにね」という願いが伝わってくるような作品もありました。選ばれた作品は、人権尊重への理解を深める啓発活動で活用させていただきます。例年以上に大変な状況の中、応募してくださった皆様に感謝申し上げます。(令和2年度人権作品応募総数 767点)



▲第一回作品審査全体会議 (中央公民館)

## 人権啓発動画「STOP!! コロナ差別」を制作しました



▲撮影風景

コロナ差別に対する理解を深めていただくため、人権啓発推進委員会では上田市・上田市教育委員会と協力して人権啓発動画を制作し、上田市行政チャンネルで放映いたしました。上田市ホームページでも視聴できます。人権への配慮について、わかりやすく説明していますので、ぜひご覧ください。



◀こちらのQRコードからご覧ください



# 令和2年度 最優秀人権啓発作品

上田市人権啓発推進委員会では、多くの方々に人権尊重への理解を深めていただくため、毎年、上田市教育委員会とともに人権啓発作品(作文・詩・標語・ポスター)を募集しています。

今年度も小中学生をはじめたくさんの方々に、応募していただきました。その中から最優秀作品に選ばれた作品の一部を紹介します。

受賞作品は、毎年2月開催の“うえだ人権フェスティバル”で展示・表彰をしていましたが、今年度は感染防止の観点から中止となったため、上田市ホームページ及び行政チャンネルで紹介しています。

画面QRコードまたは上田市ホームページからぜひご覧ください。



▲QRコード

## 作文の部

### 大好きなひいお婆ちゃん

傍陽小学校六年 小山 結愛

私のひいお婆ちゃんは、今年の九月に九十七歳で亡くなってしまいました。本当は、十月で九十八歳になるはずでした。

ひいお婆ちゃんは、もう九十七歳だというのに、手すりにつかまれば一人で歩けるほど元気でした。それに、声が大きくて、面白い話を沢山してくれました。でも、時々ひいお婆ちゃんとテレビの取り合いをして、ひいお婆ちゃんにも子供みたいなのがあったり、なんだか少し「可愛いなあ」と思いました。そして、ひいお婆ちゃんには、今年の十一月で百歳になるお姉さんがいます。ひいお婆ちゃんも、お姉さんも姉妹二人とも長生きで元気なので、私は「凄い!!!」と思いました。

でも、去年の十一月にひいお婆ちゃんが転んで骨折してしまいました。ほとんどの人が骨折をすれば、手術をすると思います。でも、ひいお婆ちゃんはまだ九十七歳。それに、心臓も悪く、お医者さんからは「手術をしている間に死んでしまうかもしれない」と言われました。私は、本当は「手術を受けてまた歩けるようになってほしい」と思っていました。でも、それよりも「ひいお婆ちゃんに生きていてほしい」と思いました。家族皆で話し合った結果、手術はしないことになりました。

しばらくして、入院していたひいお婆ちゃんが帰ってきました。今までと

は違い、ひいお婆ちゃんは、車いすで生活するようになりました。前のように歩くことはできなくなっていました。前のようにしたが、とにかく帰ってきてくれて嬉しかったです。

車いすで生活するようになったひいお婆ちゃんを、お婆ちゃんが介護するようにになりました。私も、家族の皆と協力して、自分にできることをしました。ひいお婆ちゃんは、いつも皆に「ありがとうね」と言っていました。

ですが、九月六日。ひいお婆ちゃんが亡くなってしまいました。最後は、家族皆で見送りました。悲しかったし、つらかったし、苦しかったし、沢山泣きました。「大好きな人がいなくなってしまうのは、こんなに悲しいんだ」と感じました。それに、「今まで自分が誰に支えられていたのか」ということに気が付かされました。お婆ちゃんには、「生命が誕生するところから見送りまで、本当にいい経験だよ」と言われました。

大切な人がいなくなってしまうのも、私達は生きていかなければいけません。凄く悲しいことですが、お婆ちゃんのこと、言う通り、「命」や「人権」のことについて考えるいい経験になりました。今でも、ひいお婆ちゃんは私達のそばにいて笑ってくれているような気がします。これからは、家族や友達の命、そして自分の命をこれまで以上に大切にしていきたいです。

## 作文の部

### 最優秀賞 受賞者

手首のこっせつ

南小学校二年 松枝 冬真

ありがとう六年生

西内小学校三年 田中 莉恋

目標は思いやり算

丸子中央小学校四年 平井輝月姫

一人一人が自分らしく

生きるために 菅平小学校五年 今井 心琴

大好きなひいお婆ちゃん

傍陽小学校六年 小山 結愛

ハンセン病と今

第二中学校一年 今村 文音

いじめを許すな

第二中学校二年 小林 明快

二つの言葉。

塩田中学校三年 林 音初

辻靖司さんのお話を聞いて

丸子修学館高等学校三年 平田つぐみ

## 標語の部

「お名まえは？」

きみも きようから おともだち

本原小学校 一年 柳澤 美優

つらいこと

がまんしないで 話してね

南小学校 二年 長張 詩穂

あなたとね

たすけあいたい いまだから

中塩田小学校 三年 矢野 桜彩

「ありがとう」

今日は何回 いえたかな

塩田西小学校 四年 元島 実喜

さがそうよ

わるいところより いいところ

東小学校 五年 松山 琴葉

悪口は

言った分だけ 傷がつく

相手の心と 自分の心

川辺小学校 六年 鈴木 響

その言葉

鏡を見ながら 言えますか？

依田津南部中学校 一年 勝野 歩希

感じてる？

あの子の痛み 悲しみを

真田中学校 二年 尾崎 智奈

考えた？

自分のことば 相手の気持ち

第八中学校 三年 鍵谷 祐仁

わかって

寄り添う心が 思いやり

社会福祉法人敬老園 土屋 晴美

## 詩の部

もやもや

中塩田小学校 五年 岩木 真愛

友だちとけんかした

わたしは

「ごめんね」

は 言わなかった

言いたかったけど

何だか言えなかった

だけどやっぱり

心の中がもやもやする

その後 友だちから

あやまってくれた

自分からは

あやまれなかったけど

もやもやが

晴れていくみたいだった

だけど自分からあやまれたら

もっとすっきりしたかなあ

## 詩の部 最優秀賞 受賞者

みんな いろいろ

東塩田小学校 二年 林 結月

もやもや

中塩田小学校 五年 岩木 真愛

けが

神科小学校 六年 坂口 彩羽

気持ち

第五中学校 二年 中澤明日花

## シトラスリボンプロジェクトを知っていますか？

Citrus Ribbon  
PROJECT

シトラスリボンプロジェクトとは、コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にして発足した愛媛県のグループ「ちょびっと19+」が進めるプロジェクトです。感染された方や医療従事者に対して「ただいま」、「おかえり」と受け入れる雰囲気をつくり、思いやりのある暮らしやすい社会を目指しています。シトラスリボンは愛媛県の特産品である柑橘類の色にちなみ、3つの輪は、地域・家庭・職場(学校)を象徴しています。当会も活動に賛同しており、思いやりの気持ちを少しずつでも広げていきたいと思っています。



ポスターの部



なかよしになろう  
武石小学校 一年 永井 凰冬



みんな なかよく  
南小学校 二年 白木 結菜



楽しいクラス  
川辺小学校 三年 福澤 菜乃



「大丈夫？」あなたと私の大事な言葉  
丸子北小学校 四年 瀧澤 莉央



世界は仲良し  
神科小学校 六年 稲村 実桜



咲け 色とりどりの個性の花  
第五中学校 一年 西田 杏



泣いているよ 気づいてあげて 助けよう  
塩田中学校 二年 野田 知里



認め合う日々 光は灯る  
塩田中学校 三年 室賀 音色

\*表紙について\*

令和2年度の人権啓発ポスターの部において最優秀作品に選ばれた作品です。カラフルな色づかいが、みんなの気持ちを明るくしてくれる作品です。上田市人権啓発推進委員会では、市民の皆様お一人おひとりの個性が輝き、笑顔があふれる住みやすい上田市になるよう、心をつなげて人権啓発に取り組んでいきます。

上田市人権啓発推進委員会へのご意見、入会申込み(年会費500円)は事務局まで。

【事務局】上田市教育委員会 生涯学習・文化財課  
TEL.23-5197